

5・6年 B年度

内容解説資料

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人 とよりよい 関係を築く って？	4月 (2)	(内容項目を限定しない) 1 道徳が始まるよ	道徳科で何を学ぶのか、どのよう に学ぶのかについて考えさせ ながら、1年間の道徳科の学びの 見通しをもたせ、意欲的に道徳 科を学んでいこうとする実践意 欲を育てる。	★道徳科とは、何をどのように学ぶ時間なのだろう。 ①教科書P4・5「道徳で学ぶ22のとびら」を見て、これま での道徳科の学習を振り返りながら、道徳科ではどんな ことを考えていくのか、改めて理解する。 ②教科書P6・7「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」 を見て、話し合いをするときに大切な「こつ」について 理解する。 ③「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を使って、自 分がどんなときに「それはいいね。」と思うかについて話 し合う。 ④教科書P8・9「道徳 みちあんない」を見て、これから1 年間の学びの見通しをもつ。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	【自己を見つめる】 22の「とびら」を見て、自分のこれまでの生活やこれからの 生き方に関わりが深いのはどの道徳的価値なのかを考えて いる。 【多面的・多角的に考える】 話し合いの「こつ」を使って話し合いながら、対話の大切さ を意識し、友達の考えを聞くことで、自分の考えが深まっ たり、新たな視点に気づいたりすることを確認し、さらに 自分の考えに生かしている。	
	4月 (3)	【個性を知って】 A(4)個性の伸長 2 めくもり	友達の言葉から自分の長所に気 づき、それを生かそうとする小 春の姿などを通して、長所を知 ることの大切さを考えさせ、自 分自身の特徴を知り、長所を伸 ばして自己を高めようとする心 情を育てる。	★自分のいいところを知ること、なぜ大切なのだろう。 ①はじめに「読むときには」「話し合ったり、書いたりする ときには」を読んで、それぞれの留意点を確認する。P11-14 の吹き出しは、教材を読みながら確認していくことを伝える。 ②「めくもり」を読み、今まで係を決めるときに、小春はど うして手を上げることができなかったのかを考え、発表 する。 ③小春はどんな思いで手を上げたのかを考え、発表する。 ④自分の特徴に気づくことは、どうして大切なのかを考え、 話し合う。 ▼自分のいいところを自分で考えたり友達にきいたりし て、ノートに書き出す。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分自身の特徴を知り、長所を伸ばして自己を高めようとす ることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は、自分のよいところに気づいているかと、自分を振 り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分をさまざまな角度から見つめて、自分の特徴に気づく ことのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の長所を見つめて伸ばすことの大切さを踏まえ、自分 の長所を自分なりに伸ばすにはどうすればよいかと考えて いる。	特別活動(学級活動) 図書館活用
	4月 (4)	【未来に向かって】 D(22)よりよく生きる喜び 3 まどさんからの手紙 ——こどもたちへ	「まどさんからの手紙」が何を 伝えているのかを考えさせ、人 間としての自分のよさや可能性 を信じ、さまざまなことに挑戦 してよりよい生き方をしようと する実践意欲を育てる。	★まどさんからの手紙は、あなたに何を伝えているだろう。 ①どんな大人になりたいかを考え、出し合う。 ②「まどさんからの手紙——こどもたちへ」を読み、「りっ ぱな おとな」とはどんな人かを考え、発表する。 ③小学生はどうして「たった 一かいきりの すばらしい 『とき』」「すごい『とき』」なのかを考え、話し合う。 ④まどさんからの手紙を読んで、がんばりたいな、挑戦し てみたい、楽しみたいと思った気持ちを、誰かへの 手紙として書き、発表する。 ▼最高学年として、どんなことをがんばりたいかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分のよさや可能性を信じ、さまざまなことに挑戦して、よ りよい生き方をしようと考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 さまざまなことをがんばったり、挑戦したりしているかと、 自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、よりよくありたいと思う気持ちはさ まざまであると思方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分ががんばりたいことや挑戦したいことについて考えて いる。	国語科 図書館活用 共生

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人とよりよい関係を築くって？	5月 (2)	【くじけないで】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 4 (3 4) 今、自分がいいと思うものを——切子作家・小川郁子	今までの作品にとらわれず自分がいいと思う切子を作り続ける小川郁子さんの姿などを通して、くじけない心の根っこにはどんな思いがあるのかを考えさせ、目標に向かい困難に負けずに努力し、やり抜こうとする実践意欲を育てる。	★くじけない心の根っこには、どんな思いがあるのだろう。 ①くじけそうになったことがあるかを振り返り、出し合う。 ②「今、自分がいいと思うものを——切子作家・小川郁子」を読み、「こんなにイメージどおりにならないなんて。」と思ったとき、小川さんはどんな気持ちだったかを想像し、発表する。 ③小川さんはどんな思いで、試行錯誤をしながらガラスをカットし続けたのかを想像し、話し合う。 ④くじけずにがんばってよかったなと思うことはあるか、また、それはどんなことかを振り返り、発表する。 ▼大変なことにもくじけずに研究をやり抜いた人の本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○目標に向け困難に負けずに努力し、やり抜こうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 目標に向かってがんばった経験や、くじけてしまった経験について振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 希望をもつことの大切さや、希望をもつがゆえに直面する困難を乗り越える人間の強さなど、くじけないために大切なことについて、さまざまな側面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の目標に向かってくじけずに努力するために、どんなことを大切にしていきたいかを考えている。	社会科 図画工作科 図書館活用 キャリア教育 伝統文化教育
	5月 (3)	【生活を見直す】 A (3) 節度、節制 5 なれなかったリレーの選手	ゲームのしすぎで寝不足が続く、リレーの選手になれなかった「ぼく」の姿などを通して、後悔しないよう日頃から大切にすべきことを考えさせ、節度を守り節制に心がけようとする実践意欲を育てる。	★後悔しないために、日ごろから大切にしなければならないのは、どんなことだろう。 ①いけないとわかっているのに、つい何かをやりにすぎた経験振り返り、出し合う。 ②「なれなかったリレーの選手」を読み、早く寝なくてはと思っていたのに、「ぼく」はどうしてゲームがやめられなかったのかを想像し、出し合う。 ③椅子に座ったまま、「ぼく」はどんなことを思っていたかを考え、話し合う。 ④自分の生活で見直したいのはどんなところかを考え、発表する。 ▼教科書 P204 の「学びの道具箱」(フィッシュボーン)を適宜、活用する。 ▼安全について、どんなことに気をつけているかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○節度を守り節制に心がけようとするものの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 したいことをしただけで、節度を守れなくなっていないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 節度を守り節制に心がけることの大切さと難しさの両面から、規則正しく生活することのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 大切な場面後悔しないように、自分はどんなことに気をつけて生活すればよいかと考えている。	体育科 特別活動(学校行事) 健康教育
	5月 (4)	【集団の中での役割】 C (16) よりよい学校生活、 集団生活の充実 6 (1 7) 健太の役割	二つの役割を果たそうと悩む健太の姿などを通して、集団の中で、自分の役割を果たすために大切なことを考えさせ、自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実に努めようとする判断力を育てる。	★集団の中で、自分の役割を果たすために大切なのは、どんなことだろう。 ①日直や係、委員会の仕事など、どんな気持ちで取り組んでいるかを思い起こし、出し合う。 ②「⑧」の場面で、健太はどんな理由で、どちらの役割を果たすことに決めたと思うかを考え、発表する。 ③「⑧」の場面で選ばなかったほうの役割について、健太はどう考えていると思うかを想像し、発表する。 ④集団の中で自分の役割を果たしていくためにはどのようなことを考えて行動することが大切かを考え、話し合う。 ▼学校やクラス以外の集団でどんな役割を任されているかを振り返る。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分の役割と責任を自覚し、自分ができようことを考え、集団生活の充実に努めようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 学校での仕事や役割を振り返り、それにどんな姿勢で臨んでいるか、自分を見つめる。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 社会では一人一人がさまざまな役割を担っていることを意識したうえで、集団における自分の役割を果たす際に大切なことについて、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 複数の役割が重なった場合に、自分はどんなことを大切に判断し、行動すればよいかと考えている。	特別活動(児童会活動) 社会参画に関する教育
	適宜	★心を通わそう★ 相手の気持ちを考えて言葉をかけよう B (7) 親切、思いやり／B (11) 相互理解、寛容 年間を通して、適宜、「相手の気持ちを考えて言葉をかけよう」を読み、温かい言葉をかけ合う活動を通して、思いやりをもって友達のことを理解しようとする意識をもつ。				

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的活动は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人とよりよい関係を築くって？	6月 (1)	いじめを許さない心 【だれにでも公正・公平な心で】 C (13) 公正、公平、社会正義 7 泣き虫	友達に泣きながら「ひきょう者！」と訴える勇気のある姿を通して、誰にでも公正で公平な態度を取るために必要な気持ちを考えさせ、身近な差別や偏見に向き合い、強い意志をもって正義の実現に努めようとする心情を育てる。	▼友達とよりよい関係を築くにはどうすればいいかについて、「泣き虫」と「この胸の痛みを」を通して考えることを確認する。 ★だれにでも公正で公平な態度でいるために必要なのは、どんな気持ちだろう。 ① 公正、公平に人と接することができなかった経験を思い起こす。 ② 「泣き虫」を読み、勇気に「みんな、みんな、ひきょう者だ！」と言われたとき、「私」はどんなことを思っていたかを想像し、話し合う。 ③ クラス全体が生まれ変わったみたいになったのは、みんながどんなことを思っていたからかを考え、話し合う。 ▼「この胸の痛みを」を学んだ後、P52・53のコラム「『隣る人』として寄りそう」を読み、友達とのよりよい関係づくりについて、さらに考えを深める。 ④ 巻末「学びの記録」に記入する。	○身近な差別や偏見に向き合い、強い意志をもって正義の実現に努めようとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は誰に対しても公正、公平な態度で接しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 公正、公平な態度を取れなくなってしまうことや、公正、公平な態度を貫くことの難しさや大切さなどについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 誰もが気持ちよく生活できるよう公正、公平な態度でいるために、どんな心を大切にしていこうかと考えている。	図書館活用 いじめ問題 共生
	6月 (2)	【広い心で】 B (11) 相互理解、寛容 8 この胸の痛みを	無視した相手の寂しそうな様子を目にして胸を痛める「私」の姿などを通して、「広い心」とはどんな心かについて考えさせ、自分について謙虚に振り返り、よりよい関係を築こうとする心情を育てる。	★「広い心」とは、どんな心だろう。 ① 相手を「許せない。」と思ってしまった経験を振り返る。 ② 「この胸の痛みを」を読み、朝実から「由希を無視しようよ。」と言われたとき、「私」はどんなことを考えたのかを考え、発表する。 ③ 「私」の胸が痛むのは、どんな思いがあるからかを考え、話し合う。 ④ この後、「私」が由希に話しかけるとしたら、二人はどんな話をすると思うかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書P51の「考えるヒント」(演じて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ▼「広い心」はなぜ必要なのか、また、「広い心」がないとどうなるかを考える。 ⑤ 巻末「学びの記録」に記入する。	○自分について謙虚に振り返り、よりよい関係を築こうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 広い心をもって人と接しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 相手に対して寛容であろうとすることや、そうしようと思ってもなかなかできないことなどのさまざまな面から、お互いにわかり合おうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 広い心で相手に接し、相手の立場や気持ちを理解することの難しさを意識したうえで、広い心をもって人と接するためにはどうすればよいかと考えている。	いじめ問題 共生
	適宜	★コラム★ 〈いじめを許さない心〉 「隣る人」として寄りそう B (10) 友情、信頼／B (11) 相互理解、寛容／C (13) 公正、公平、社会正義				特別活動(学級活動) いじめ問題 共生
	6月 (3)	【真の友情とは】 B (10) 友情、信頼 9 ロレンゾの友達	警察に追われているというロレンゾの迎え方を巡る3人の考えの違いなどを通して、真の友情とはどのようなものかを考えさせ、互いに信頼し高め合い、真の友情を築こうとする判断力を育てる。	★真の友情とは、どのようなものだろう。 ① 友達だったら、どんなことがあっても信じられるかを考え、発表する。 ② 「ロレンゾの友達」を読み、アンドレ、サバイユ、ニコライに共通する、ロレンゾに対する思いとはどんなものかを考え、発表する。 ③ アンドレ、サバイユ、ニコライの3人は、どうして、かしの木の下で話し合ったことをロレンゾに言わなかったのかを考え、話し合う。 ④ 真の友情とはどのようなものかを考え、話し合う。 ▼友達とのきずなについて考えることのできる本を読む。 ⑤ 巻末「学びの記録」に記入する。	○互いに信頼し、高め合う真の友情とはどんなものなのか、考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達のことを信じて関わっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達とはどのような存在なのか、さまざまな考えがあることを知り、自分の見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 信頼し合える友情を築いていくために、これからどんなことを大切にしていこうかと考えている。	図書館活用 法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人とよりよい関係を築くって？	6月 (4)	【相手を思いやって】 B (7) 親切、思いやり 10 今度は、ぼくの番	病気と闘う木原先生のためにできることを考える「ぼく」の姿などを通して、相手を思う心はどのような行動で示せるかを考えさせ、相手の状況や気持ちを考え、思いやりをもって親切にしようとする心情を育てる。	★相手を思う心は、どのような行動で表せるだろう。 ①自分が最近取った思いやりのある行動を振り返り、出し合う。 ②「今度は、ぼくの番」を読み、「ぼく」の胸はどうしてドキドキと音を立てたのかを考え、発表する。 ③「今度は、ぼくの番です。」と言ったとき、「ぼく」はどんなことを思っていたかを考え、話し合う。 ④「思いやり」とはどんなものかを考え、話し合う。 ▼教科書 P205 の「学びの道具箱」(インタビュー対話)を適宜、活用する。 ▼人の思いやりや親切が描かれている本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○相手の立場に立って思いやりを示すことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は相手への思いやりを表しているか、また、思いやりとはどのようなものだと考えているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 相手の置かれている状況を自分自身に置き換え、適切に接することについて、友達の考えを聞きながら自分の見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 相手の立場に立って親切にするとはどういうことなのかを考え、これからの生活に生かそうとしている。	国語科 図書館活用
	7月 (1)	自然と共に 【自然を大切に】 D (20) 自然愛護 11 クジラとプラスチック	プラスチックごみで作られたクジラの写真や説明などを通して、自然を大切にすることはどういうことかを考えさせ、人間と自然の関わりに関心をもち、自然環境を大切にしようとする実践意欲を育てる。	▼自然と共に生きていくために考えるべきことについて、「クジラとプラスチック」と「命の旅」を通して考えることを確認する。 ★自然を大切にすることは、どういうことだろう。 ①自分の身の回りにどんなプラスチック製品があるかを考え、出し合う。 ②P66・67 のクジラの作品の写真を見て感じたことを発表する。 ③クジラの作品を作った人たちは、どんなことを考えながらこのクジラを作ったのかを想像し、話し合う。 ④自然を大切にするためにできることを考え、出し合う。 ▼プラスチックごみが自然に与える影響にはどんなものがあるか、調べてみる。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○児童が自然環境を大切にすることを自分事として考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分にできる範囲で自然環境を大切にしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自然環境を保全することの大切さについて、動植物の側からだけでなく、自然の中で生かされている人間の側からも考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自然環境を守るために、自分のできる範囲でどんなことができるかと考えている。	社会科 理科 総合的な学習の時間 共生 環境教育 社会参画に関する教育
	7月 (2)	【命をつなぐ】 D (19) 生命の尊さ 12 命の旅	知床の動物たちの生きるための営みなどを通して、「命の旅」の意味について考えさせ、生命は、多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを知り、生命を尊重しようとする心情を育てる。	★「命の旅」とは、どんなことを表しているのだろう。 ①「命の旅」とは、どんな意味だと思うかを出し合う。 ②「命の旅」を読み、いちばん心に残ったのは、どんなところか、また、それはどうしてかを考え、出し合う。 ③「ありがとうございます。」には、どんな思いが込められているかを考え、発表する。 ④「命の旅」とは、どんなものかを考え、話し合う。 ▼教科書 P76・77 のコラム「よりよい世界をみざして」を読んで、自分たちと自然との関わりについて、さらに考えを深める。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○かけがえのない生命のつながりを実感したときの思いを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 命とはどのようなものか、自分の考え方を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 個々の生命が互いに作用しつながっているという、生命の関係性について、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 生命は、多くの生命のつながりの中に存在していることを忘れず、かけがえのない命を大切にしていこうと考えている。	社会科 理科 共生 環境教育
	適宜	★コラム★ 〈自然と共に〉 よりよい世界をみざして D (19) 生命の尊さ／D (20) 自然愛護				社会科 総合的な学習の時間 図書館活用 共生 環境教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
		○「学習のまとまり」を振り返った評価(4～7月) ここまでに学んだ、【A(4)個性の伸長】【D(22)よりよく生きる喜び】【A(5)希望と勇気、努力と強い意志】【A(3)節度、節制】【C(16)よりよい学校生活、集団生活の充実】【C(13)公正、公平、社会正義】【B(11)相互理解、寛容】【B(10)友情、信頼】【B(7)親切、思いやり】【D(20)自然愛護】【D(19)生命の尊さ】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。				
広い視野で人や社会と関わるって？	適宜	★「考える」準備たいそう★ 話し合いながら考えを深めていくことが上手になるように、教科書P79の「進め方」に即して、テーマを決めて話し合い、これからの学習に生かす。				
	9月 (1)	【よりよいきまりとは】 C(12)規則の尊重 13(7) 公園のきまりを作る	さまざまな人がいる公園の絵を見て、その公園にきまりを作る活動などを通して、きまりはどんなことを大事にして作ればよいのかを考えさせ、きまりの意義を理解したうえで、それを進んで守ろうとする実践意欲を育てる。	★きまりは、どんなことを大事にして作ればよいのだろう。 ①きまりがあるのに、守られていないことがあるのはどうしてかを考え、出し合う。 ②P34・35の公園の絵を見て、どんなところが気になるかを発表する。 ③②で気になったところを解決するためには、どんなきまりがあればよいと思うかを話し合う。 ④③で考えたきまりは、どんなことを大事にして作ったかを発表する。 ⑤③で考えたきまりを公園の看板に書くとしたらどのように書くかを考え、発表する。 ⑥きまりを作る立場になったとき、大事にしなければならないことはどんなことかを考え、話し合う。 ▼きまりがきちんと守られるためには、みんなが、どんなふうにかえることが必要なかを考える。 ⑦巻末「学びの記録」に記入する。	○きまりの意義を理解し、それを進んで守ろうとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 きまりを守ることや、きまりが守られていないことについて、自分はどんな考えをもっているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの人にそれぞれの主張や立場がある中で、みんなにとってよいきまりを作ることの大切さや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 きまりの意義を意識したうえで、自分はきまりに対してどう向き合っていこうかと考えている。	国語科 特別活動(学級活動) 共生 法教育
	9月 (2)	情報と向き合う 【責任を自覚して】 A(1)善悪の判断、自律、自由と責任 14 気に入らなかった写真	みんなで撮った写真をインターネット上に投稿し、友達から削除を求められて悩む「お姉さん」の姿などを通して、責任ある行動について考えさせ、よく考えて自律的に判断し、責任ある行動を取ろうとする判断力を育てる。	▼情報との向き合い方について、「気に入らなかった写真」を通して考えることを確認する。 ★責任ある行動について考えよう。 ①スマートフォンや通信機能付きゲーム機を使ったことがあるかを確認する。 ②「気に入らなかった写真」を読み、お姉さんはどんな考えで写真を投稿したのかを想像し、出し合う。 ③写真を投稿する前に、お姉さんはどんなことを考えなければならなかったのかを想像し、話し合う。 ④インターネットを利用するときに考えなければいけない責任とはどんなことかを考え、発表する。 ▼教科書P92・93のコラム「インターネット上の権利」を読み、情報の扱い方について考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○よく考えて自律的に判断し、責任ある行動を取ろうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 どう行動すればよいのか迷う場面で、自分は自分の責任をどのように考えているかと、自分を見つめる。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 されて嫌だと感じることは人それぞれであることや、インターネットを利用するときには、人のさまざまな権利に配慮することについて考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 どんなときにも責任ある行動を取るために、どんなことを心がけていこうかと考えている。	情報モラル
	適宜	★コラム★ 〈情報と向き合う〉 インターネット上の権利 A(1)善悪の判断、自律、自由と責任／C(12)規則の尊重				情報モラル

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって？	9月 (3)	【明るい心で】 A (2) 正直、誠実 15 (14) このままでいいのかな	周囲の勢いに流され、正しいことを言えない「わたし」の姿などを通して、明るい心で生活するには、どう考え、判断すればいいのかを考えさせ、自分自身に誠実であろうとする判断力を育てる。	★明るい心で生活するためには、どう考え、判断すればよいのだろう。 ①なんだか心がもやもやするときはないか、また、それはどんなときかを思い出し、出し合う。 ②「このままでいいのかな」を読み、もやもやしている「わたし」の心の中を想像し、どうすればその「もやもや」が晴れるかを、教科書 P79 の四つのステップに沿って考え、話し合う。 ③話し合ったことを通して、「もやもや」を晴らすために大切なことは何かを話し合う。 ④心のもやもやを晴らせたことはあるか、また、今は明るい心で生活しているかを振り返る。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分自身に誠実であろうとすることのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分自身に誠実に、明るい心で生活しているかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分自身に誠実に生きることの大切さだけでなく、その難しさについても考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の意に反して周囲に流されてしまうことなく、自分自身に誠実に生きていこうと考えている。	いじめ問題 共生
	9月 (4)	【理解し合うために】 B (11) 相互理解、寛容 16 昼休みのコートで	コートの使用を巡って思いが擦れ違う洋と光太の姿などを通して、相手と理解し合うために大切な気持ちを考えさせ、相手の立場や気持ちを考え、互いに尊重し合ってよりよい関係を築こうとする心情を育てる。	★相手と分かり合うためには、どんな気持ちで、大切なだろう。 ①誰かと分かり合えなくて悲しい気持ちになったことはないかを振り返る。 ②「昼休みのコートで」を読み、お互いに口を利かずにいたとき、洋と光太はそれぞれどんな気持ちだったかを考え、出し合う。 ③洋は、どんな思いから、光太に「なんで一人で練習しているのか、聞かせてくれよ。」と言ったのかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P51 の「考えるヒント」(演じて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ④自分と違った考えに出会ったときに大切なことは何かを考え、話し合う。 ▼「この胸の痛みを」と本時で学んだことをつなげて考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○相手と理解し合おうとするときの気持ちについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は相手の気持ちを理解しながら関わっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 互いに理解し合うためには、自分の考えを伝えることとともに、広い心で異なる意見や立場を尊重することが大切だと考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の考えを伝えること、相手の立場に立って考えることを意識しながら、よりよい人間関係を築いていこうと考えている。	いじめ問題 共生
	10月 (1)	【友達を思う心】 B (10) 友情、信頼 17 (16) 友のしょうぞう画	重い病気と闘う章太の作品を目にして涙する「ぼく」の姿などを通して、友達を思う心とはどんなものかを考えさせ、友達と互いに信頼し合い、支え合って友情を深めていこうとする心情を育てる。	★友達を思う心とは、どんなものだろう。 ①友達を助けたり、友達から助けられたりしたことはあるかを振り返り、出し合う。 ②「友のしょうぞう画」を読み、章太からの返事が来なくなったとき、どうして和矢は手紙が書きづらくなってしまったのかを考え、発表する。 ③章太の作品を見て涙があふれたとき、和矢はどんなことを思っていたかを考え、話し合う。 ▼「考えるヒント」(こんな活動で考えることもできるよ)を適宜、活用する。 ④友達とはどんな存在かを考え、話し合う。 ▼友達と支え合えてよかったと思ったことを紹介し合う。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○友達と互いに信頼し合い、支え合って友情を深めていくことの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は友達とどのように支え合っているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の姿や友達の考えを基に、友達との関係性について、見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 信頼で結ばれた友達関係を築くために、どんな気持ちで友達と接していきたいかを考えている。	共生

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
広い視野で人や社会と関わるって？	10月 (2)	【よりよい学校を目指して】 C(16)よりよい学校生活、 集団生活の充実 18 六年生の責任って？	6年生として何ができるのか、悩む「ぼく」の姿などを通して、6年生の責任を果たすために、どう考え、判断すればよいかを考えさせ、役割を自覚し、協力して学校生活を充実させようとする判断力を育てる。	★六年生の責任を果たすために、あなたはどうか考え、判断すればよいのだろうか。 ①六年生として、下級生や先生から頼りにされていると思うのはどんなときかを振り返り、出し合う。 ②「六年生の責任って？」を読み、自分が「ぼく」のクラスの一員だったらどうすればよいかを、教科書 P114・115のステップに沿って考える。 ③各自が考えたことを出し合い、六年生にも下級生にも望ましい状態にするためにはどうすればよいかを考え、話し合う。 ④六年生の責任を果たすために大切なのはどんな考えかを話し合う。 ▼先生や上級生のおかげで気持ちよく生活できていると思うことがあるかを思い起こし、よりよい学校を目指して自分にどんなことができるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○6年生として、どのように責任を果たしていきたいかを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 最高学年としての自覚をもって行動しているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 役割や責任を果たすことについて、さまざまな考え方があつて、自分の見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 6年生として、これからの学校をよりよくしていくために、自分にどんなことができるかを考えている。	特別活動(学級活動、 児童会活動) 共生 社会参画に関する教育	
	適宜	★なんだろう なんだろう★ 「自分」って、なんだろう。 関連する内容項目 A(4)個性の伸長 A(1)善悪の判断、自律、自由と責任／D(22)よりよく生きる喜び 家庭学習や朝の読書活動の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、「自分」とは何なのか、考えてみる。					
	○「前期」を振り返った評価(4～10月2週目) ここまで学んだ、【A(4)個性の伸長】【D(22)よりよく生きる喜び】【A(5)希望と勇気、努力と強い意志】【A(3)節度、節制】【C(16)よりよい学校生活、集団生活の充実】【C(13)公正、公平、社会正義】【B(11)相互理解、寛容】【B(10)友情、信頼】【B(7)親切、思いやり】【D(20)自然愛護】【D(19)生命の尊さ】【C(12)規則の尊重】【A(1)善悪の判断、自律、自由と責任】【A(2)正直、誠実】【B(11)相互理解、寛容】【B(10)友情、信頼】【C(16)よりよい学校生活、集団生活の充実】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
	10月 (3)	【法やきまりを守って】 C(12)規則の尊重 19 ここを走れば	祖父の危篤の知らせを受けても路側帯を走らずに規則を守る父親を見つめる「ぼく」の姿などを通して、法やきまりを支えるのは、人々のどんな考えかを話し合わせ、法やきまりの意義を理解し、進んで守ろうとする心情を育てる。	★法やきまりを支えているのは、人々のどんな考えだろう。 ①きまりを破ってしまいそうなきときはどんなときかを思い起こし、出し合う。 ②「ここを走れば」を読み、父が路側帯を走らなかったとき、「ぼく」はどう思ったかを考え、出し合う。 ③父の涙を見ながら、「ぼく」はどんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ④法やきまりは、人々のどんな考えによって支えられているのかを考え、話し合う。 ▼どんなときに人はきまりを守れなくなってしまうのかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○法やきまりの意義を理解し、進んで守ろうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分勝手な理由をつけてきまりを守らないことはないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、きまりの意義や、それを支える人々の意識について、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 法やきまりの意義を理解したうえで、どんなときもきまりを守るためには、どんな心が必要かと考えている。	社会参画に関する教育 法教育	

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ（★）・学習活動（中心的な活動は黒丸数字） 適宜取り組むことが有効な学習活動（▼）	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
広い視野で人や社会と関わるって？	10月 (4)	【礼儀とは】 B (9) 礼儀 20 礼儀正しいふるまい	二つの出来事から、礼儀について考える陸の姿などを通して、礼儀正しい振る舞いについて考えさせ、時と場に応じ、相手の立場や気持ちを考え、心を込めて接していこうとする実践意欲を育てる。	★礼儀正しいふるまいについて、考えよう。 ①「礼儀正しい人」とは、どんな人のことかを考え、出し合う。 ②「①」の出来事を読み、「礼儀」について考えた陸は、自分ならどのように挨拶すると思ったかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P51 の「考えるヒント」(演じて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ③「②」の出来事を読み、陸は航大のどんなところを「かっこよかったな。」と感じたのかを考え、発表する。 ④礼儀正しい振る舞いとはどんなものかを考え、話し合う。 ▼礼儀正しい振る舞いができるのとできないのでは、日々の生活にどんな違いが生まれるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○時と場に応じ、相手の立場や気持ちを考え、心を込めて接していこうと考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 礼儀正しさについて、自分はどんな考えをもっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな状況を想定したうえで、時と場に応じた適切な言動について考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 時と場をわきまえた礼儀正しい言動をするためには、どんな考えを大切にすればよいかと考えている。	特別活動（学校行事） 社会参画に関する教育	
	適宜	★学びのじゅんぴ★ 地域のためにつくす人について知ろう B (8) 感謝 次の「水がわたる橋——通潤橋」の学習の準備として、自分が住む地域のために力を尽くした人・尽くしている人にはどんな人がいるのか考えておく。					
	11月 (1)	【感謝の心をもって】 B (8) 感謝 21 (32) 水がわたる橋——通潤橋	村に水を送るために尽力した布田保之助の姿を通して、自分たちの生活がどんな人たちに支えられているのかを考えさせ、自分たちの生活が、過去の人々の尽力のうえにあることに感謝し、善意に応えていこうとする心情を育てる。	★自分たちの生活は、どのような人たちに支えられているのだろう。 ①自分たちの生活を、見えないところで支えてくれている人には、どんな人がいるかを考え、出し合う。 ②「水がわたる橋——通潤橋」を読み、保之助が水を引くことが難しい白糸の地に橋を架けることを決意したのはどんな思いからだったのかを考え、発表する。 ③「白糸に水を。水を送ろう！」という合い言葉には、人々のどんな思いが込められているかを考え、出し合う。 ④人々が今でも言い伝えている「この水は、命そのものだ。」という言葉には、どんな思いが込められているかを考え、話し合う。 ▼自分たちの生活を支えてくれている人々への感謝の気持ちは、どんな形で表せるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分たちの生活が、過去の人々の尽力のうえにあることに感謝し、その善意に応えていこうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の生活はどんな人に支えられているかを振り返り、その人にどのような思いをもっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 尊敬し感謝する対象はたくさんいることについて、広い視野で考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 見えないところで生活を支えてくれている人、過去に力を尽くしてくれた人などに対して、自分はどんな思いをもって生活していこうかと考えている。	社会科 社会参画に関する教育 伝統文化教育	
	11月 (2)	【思いやりとは】 B (7) 親切、思いやり 22 (31) 「思いやり」って、何だろう	「思いやり」について多様な考えを出し合い、「思いやり」とは何かを考える活動などを通して、「思いやり」についての考えを深め、友達と考えた「思いやり」の本質を、これからの自分の生き方に生かそうとする心情を育てる。	★「思いやり」について、考えを深めよう。 ①「思いやり」について、これまでどんなことを考えてきたかを振り返る。 ②「思いやり」って、何だろうを読み、グループになって「思いやり」とは何かを考え、話し合う。 ③「思いやり」について、みんなで考えてよかったことや、新しく発見したことを発表する。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○対話を通じて「思いやり」の本質について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 「思いやり」とはどのようなものか、これまでの自分の経験を振り返りながら考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 「思いやり」についてのさまざまな考え方を聞く中で、「思いやり」とはどのようなものか、自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考えて、思いやりの心とそれが伴った適切な行為をしていこうと考えている。	国語科 共生 福祉に関する教育	

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって？	11月 (3)	【心の美しさ】 D (21) 感動、畏敬の念 23 マザー＝テレサ	「死を待つ人の家」を始め、最貧の人々に慈愛の手を差し伸べ続けたマザー＝テレサの生き方などを通して、そこから何を感じるかを考えさせ、人間の心の崇高さに感動する心を大切にしようとする心情を育てる。	★マザー＝テレサの生き方から、私たちは、何を感じるだろう。 ① マザー＝テレサについて、知っていることがあるかを確認する。 ② 「マザー＝テレサ」を読み、マザー＝テレサは、なぜ死にゆく人々の手を握り続けたのかを考え、発表する。 ③ マザー＝テレサの生き方を知って、どんなところに心を動かされたかを出し合い、話し合う。 ▼ 誰かの話を聞いたり本を読んだりして心を動かされたときは、その思いをノートに書き留めておく。 ④ 巻末「学びの記録」に記入する。	○人間の心の崇高さに感動する心を大切にしようとしている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 人間のもつ心の崇高さや偉大さに対して、どんな思いをもっているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、人の行動やそれを支える信念について、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 人間の心の崇高さや偉大さに対して心が揺さぶられることのすばらしさを意識したうえで、感動する心を大切にしていこうとしている。	社会科 共生 社会参画に関する教育 福祉に関する教育
	11月 (4)	【共に生きる】 D (19) 生命の尊さ 24 命のかがやき	静香さんの成長を喜び、共に生きることのすばらしさを語る父親の姿などを通して、命について考えさせ、一人一人のつながりの中にあるかけがえのない命を大切に、精いっぱい生きようとする心情を育てる。	★命について考えよう。 ① 命の輝きとはどんなものかを考える。 ② 「命のかがやき」を読み、どんな命の輝きを感じたかを出し合う。 ③ 出し合ったことを心に置きながら、命の輝きとはどういうものかを考え、話し合う。 ▼ これからも命の輝きを見つけていく。 ④ 巻末「学びの記録」に記入する。	○人と人とのつながりの中にある生命の大切さを理解し、それを自分とも関連させて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の命を見つめる中で、さまざまな人々の精神的なつながりや支え合いの中で命が育まれているのだと考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 これまでの学習を考え合わせながら、生命のかけがえのなさについて、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分や他者の命のかけがえのなさを自覚し、自分や他者の命を尊重していこうと考えている。	共生
	適宜	★感じよう いのち★ 「生命力」を表現してみよう！ D (18) 生命の尊さ 自分の体で「生命力」を表現することを通して、命のかけがえのなさやすばらしさ、尊さを感じ、命を大切にしようとする気持ちをもつ。				
	12月 (1)	【やりとげるために】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 25 小川笙船	貧しい病人の治療に明け暮れ、医者の育成に力を注ぐ小川笙船の姿などを通して、自分の決めたことをやり遂げるために大切な心について考えさせ、目標に向かって努力しようとする心情を育てる。	★自分の決めたことをやりとげるために大切な心は、どんな心だろう。 ① 何かをやり遂げるのにいちばん必要なのは、どんな心かを考え、出し合う。 ② 「小川笙船」を読み、笙船は何百人もの患者であふれ返る養生所を、どんな思いで取り仕切っていたかを想像し、発表する。 ③ 養生所にみんなの笑顔と拍手の音が広がったとき、笙船はどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ④ 何かをやり遂げるために大切な心はどんな心かを考え、話し合う。 ▼ 「大きな目標をもって——西山 麗」と本時で学んだことをつなげて考える。 ⑤ 巻末「学びの記録」に記入する。	○目標に向かって努力しようとする大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 夢や目標に向かって努力をしているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、小川笙船の生き方や信念について、多様な感じ方があることを知り、自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 強い意志をもって何かをやり遂げるためにはどんなことが必要かを考え、これからの自分の生き方に生かそうとしている。	キャリア教育 福祉に関する教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ（★）・学習活動（中心的な活動は黒丸数字） 適宜取り組むことが有効な学習活動（▼）	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
広い視野で人や社会と関わるって？	12月 (2)	共に生きる 【他国の人々と支え合いながら】 C（18）国際理解、国際親善 26 エルトゥールル号——友好の始まり	沈没したトルコ船の船員を懸命に助けた村人たちの姿と、トルコとの交流を大事に続ける人々の思いなどを通して、他国の人々と支え合いながら生きるのに大切なことを考えさせ、国際親善に努めようとする実践意欲を育てる。	▼人々と助け合って生きていくためには、どんな考え方や行動を取ることが大切なのかについて、「エルトゥールル号——友好の始まり」と「私には夢がある」を通して考えることを確認する。 ★他国の人々と支え合いながら生きていくためには、どんなことが大切なのだろう。 ①日本人と外国の人々が助け合ったことについて、知っていることはあるかを確認する。 ②「エルトゥールル号——友好の始まり」を読み、村人たちはなぜ自分たちの大切な食料を差し出してまで、乗組員たちを助けたのかを考え、発表する。 ③「二つの国のきずな」とは、どのようなきずなを考え、話し合う。 ④広末は海を見ながらどんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ▼「私には夢がある」を学んだ後、教科書P164・165のコラム「世界の人々と助け合って」を読み、他の国や地域の人々と助け合いながら生きていくことについて、さらに考えを深める。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○他国の人々と支え合いながら生き、国際親善に努めようとする ことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 他国や、他国の人々との関わりについて、自分の考えを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 助けた国と助けられた国の両方の立場から、国際親善の意義について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 他国の人々とよりよい関係を築くためには何が大切なのか、また、自分にも何かできることはないかと考えている。	社会科 総合的な学習の時間 共生 国際理解教育	
	適宜	★学びの準備★ 差別の問題に目を向けよう C（13）公正、公平、社会正義 次の「私には夢がある」の学習の準備として、これまでに経験したこと、見聞きしたこと、学習したことなどを思い出し、「差別ではないか。」と感じたことをノートに書き出しておく。					
	12月 (3)	【差別のない社会を求めて】 C（13）公正、公平、社会正義 27 私には夢がある	非暴力で人種差別反対を訴え続けた人々の姿などを通して、マーティンが目ざす世界を実現するにはどんな考えが大切かを考えさせ、差別や偏見を許さず、正義の実現に努めようとする判断力を育てる。	★マーティンが目ざす世界を実現するためには、どんな考えが大切なのだろう。 ①「差別ではないか。」と感じたことを出し合う。 ②「私には夢がある」を読み、「マーティンの夢」とはどんなものかを考え、発表する。 ③アフリカ系アメリカ人の人々は、どんな思いで運動を続けたのかを考え、発表する。 ④「マーティンの夢」を実現するために、現代を生きる自分たちはどのような考えや行動をしていけばよいかを話し合う。 ▼キング牧師の生涯について書かれた本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○差別や偏見を許さず、正義の実現に努めようとする ことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 差別や偏見に対して、自分はどのような行動を取っているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 文章や友達の考えを基に、社会的な差別や偏見について、自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 いじめのないクラスや差別のない社会を実現するために、自分には何ができるかを考えている。	社会科 図書館活用 共生 社会参画に関する教育 法教育	
	適宜	★コラム★ 〈共に生きる〉 世界の人々と助け合って C（13）公正、公平、社会正義／C（18）国際理解、国際親善					総合的な学習の時間 図書館活用 共生 国際理解教育
○「学習のまとめり」を振り返った評価（9～12月）							
ここまでに学んだ、【C（12）規則の尊重】【A（1）善悪の判断、自律、自由と責任】【A（2）正直、誠実】【B（11）相互理解、寛容】【B（10）友情、信頼】【C（16）よりよい学校生活、集団生活の充実】【C（12）規則の尊重】【B（9）礼儀】【B（8）感謝】【B（7）親切、思いやり】【D（21）感動、畏敬の念】【D（19）生命の尊さ】【A（5）希望と勇気、努力と強い意志】【C（18）国際理解、国際親善】【C（13）公正、公平、社会正義】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。							

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分の生き方を見つめるって？	1月 (2)	【真実を求めて】 A (6) 真理の探究 28 (22) 真の看護を求めて ——ナイチンゲール	疑問をもって観察し、真実を突き止めて解決への道を開いたナイチンゲールの生き方などを通して、真実を追求しようとする思いはなぜ大切かを考えさせ、真理を大切に、物事を探求しようとする心情を育てる。	★真実を追求しようとする思いは、なぜ大切なのだろう。 ①自分は、何かをじっくり考えたり観察したりすることは好きかを振り返る。 ②「真の看護を求めて——ナイチンゲール」を読み、ナイチンゲールが兵士を救うために大事にしたことは何かを考え、発表する。 ③ナイチンゲールの「真実を追求しようとする強い思い」によって、何が変わったのかを考え、話し合う。 ④真実を追求しようとする思いはなぜ大切なのかを考え、話し合う。 ▼真実を追求した人の姿が描かれた本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○真理を大切に、物事を探求しようとする心の大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 興味が湧いたことを進んで調べたり、追求したりしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達の考えを基に、探究心をもち続けることのよさや、探究心がもたらすものについて考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 探究心をもち続けるために、どんな気持ちを大切にしているかと考えている。	算数科 図書館活用 キャリア教育
	1月 (3)	【自由とは】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 29 (28) うばわれた自由	それぞれの自由を主張する森の番人ガリユーと、王子ジェラルの姿などを通して、「本当の自由」とはどのようなものかを考えさせ、自由に伴う責任の大きさを感じ取り、自律的で責任ある行動をしようとする判断力を育てる。	★「本当の自由」とは、どんなものだろう。 ①「自由っていいなあ。」と思ったことがあるか、また、どんなときにそう思ったかを思い起こし、出し合う。 ②「うばわれた自由」を読み、「おまえも自由にくらしてみろ。」とガリユーに言ったとき、ジェラル王子はどんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ③牢屋から去っていくガリユーを見て、ジェラル王はどんなことを考えたかを想像し、話し合う。 ④「本当の自由」とはどんなものかを考え、話し合う。 ▼自由について書かれた本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自由に伴う責任の大きさを実感し、自律的で責任ある行動をしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自由について、自分はどんな考えをもっているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 本当の意味での自由とはどのようなものかについて、さまざまな角度から考え、見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自由と責任の関係性を踏まえて、これから自分はどのように行動していこうかと考えている。	図書館活用 法教育
	1月 (4)	【郷土を大切に】 C (17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 30 曲げわっぱから 伝わるもの	「曲げわっぱ」を守り、発展させている人々の思いを知った雪菜の姿などを通して、伝統や文化を守っていくために必要なことを考えさせ、先人の業績や優れた技に誇りをもち、大切にしようとする心情を育てる。	★伝統や文化を守っていくためには、何が必要なのだろう。 ①知っている伝統工芸品を思い起こし、出し合う。 ②「曲げわっぱから伝わるもの」を読み、お母さんの言葉にしぶしぶうなずいた雪菜はどんなことを考えていたかを想像し、出し合う。 ③職人たちは、どんな思いで「曲げわっぱの伝統をとだえさせてしまうわけにはいかない。」と考えているのかを想像し、話し合う。 ④雪菜は、なぜ「おじいちゃんから聞いた話を友達にしてあげよう。」と思ったのかを考え、発表する。 ▼日本のよさはどんなものか、また、そのよさをどうやってよりよいものにしていきたいか考える。 ▼教科書 P206 の「日本の『伝統工芸』」を見る。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○先人の業績や優れた技に誇りをもち、大切にしようとしている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 伝統や文化について、自分がどのような意識をもっているかを振り返る。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 伝統や文化を受け継ぎ次の世代へとつないでいくことのすばらしさと、大変さの両面から、伝統や文化を守ることについて考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 伝統を守っていくことの難しさを踏まえ、伝統の発展のために自分には何ができるかを考えている。	社会科 図書館活用 伝統文化教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分の生き方を見つめるって？	2月 (1)	【家族のために】 C (15) 家族愛、家庭生活の充実 3 1 (2 0) 祖母のりんご	今の祖母にとまどいながらも、昔の優しい祖母を思い出して涙する「わたし」の姿などを通して、家族とはどんなものかを考えさせ、家族を敬愛し、家族のために自分にできることをしようとする心情を育てる。	★「祖母のりんご」から見えてくる家族とは、どんなものだろう。 ①「祖母のりんご」を読み、「朝子、悪かったな。(中略)おばあちゃんは、お父さんのお母さんなんだ。」と父から言われたとき、「わたし」はどんなことを思ったかを考え、発表する。 ②「今度はわたしの番だからね。」という言葉には、「わたし」のどんな思いが込められているかを考え、話し合う。 ▼家族のために、どんなことができるかを考える。 ③巻末「学びの記録」に記入する。	○家族を敬愛し、家族のために自分にできることをしようとする ことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 家族に対してどのような態度で接しているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 家族を大切に思うときと、そう思えなくなってしまうときの両方に触れたうえで、家族と温かい関係性を築くために大切なことについて考えを深めている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから自分は、家族に対してどんな思いをもち、どんなふうに貢献していこうかと考えている。	福祉に関する教育
	2月 (2)	【精いっぱい生きる】 D (19) 生命の尊さ 3 2 (3 3) 最後のコンサート——チェロ奏者・徳永兼一郎	病に侵されながらチェロ奏者としての生き方を全うした徳永兼一郎氏の姿などを通して、「精いっぱい生きる」とはどういうことかを考えさせ、かけがえのない生命を大切に生きようとする心情を育てる。	★「精いっぱい生きる」とは、どういうことだろう。 ①「生きる」とは、どういうことだと思うかを出し合う。 ②「最後のコンサート——チェロ奏者・徳永兼一郎」を読み、兼一郎はどんな気持ちで東京でのコンサートに向けてチェロの練習を続けたのかを考え、出し合う。 ③チェロを弾けるような状態ではなかった兼一郎が、ホスピスでのコンサートで演奏することを諦めなかったのは、どんな思いがあったからかを考え、話し合う。 ④「精いっぱい生きる」とはどういう生き方をするのかを考え、話し合う。 ▼「命の詩——電池が切れるまで」と本時で学んだことをつなげて考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○かけがえのない生命を大切に精いっぱい生きようとする ことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 限りある自分の命を生きることについて、自分はどのように考えてきたかを振り返る。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 限りある生命を懸命に生きることの尊さ、生きることの意義を追い求める高尚さなど、さまざまな側面から命を尊重することについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 精いっぱい生きるために、自分はどのような考えや行動をするべきかを考えている。	音楽科
	2月 (3)	【働く意義】 C (14) 勤労、公共の精神 3 3 「働く」って、 ということ？	三つの資料を通して、働くとはどのようなことかを考えさせ、働くことの意義を理解し、自己実現を図るとともに、公共のために役に立つことをしようとする実践意欲を育てる。	★働くとは、どのようなことか、考えてみよう。 ①将来、就きたい職業を出し合う。 ②P189の「資料1」を見て、どのようなことを考えたかを発表する。 ③P190・191の「資料2」の島田さん、P192・193の「資料3」の興猶さんは、仕事をしていくうえで、それぞれどんなことを大切にしているかを考え、発表する。 ④人は何のために働くのかを、「考えるヒント」(図を使って考えよう)を参考にして考え、みんなで話し合う。 ▼教科書P194の「考えるヒント」(図を使って考えよう)、教科書P204の「学びの道具箱」(ピラミッドチャート)を適宜、活用する。 ▼身近な人に、その仕事を選んだ理由ややりがいについて尋ねる。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○さまざまな観点から、働くことの意義について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 働くということに対して、自分はどんな考えをもっているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 働くことを巡って、人にはさまざまな思いがあることを知り、自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 将来、自分は職業を選ぶときに何を大切にしたらよいか、また、どんなことにやりがいを感じるかを想像している。	社会科 キャリア教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分の生き方を見つめるって？	3月 (1)	【支えてくれた人々に】 B(8) 感謝 34 「ありがとう」の 気持ちを伝える	父親に対する感謝の作文を通して、自分の内面にある感謝の気持ちを見つめさせ、多くの人の支えや助け合いで成り立っている日々の生活に感謝し、それに応えようとする実践意欲を育てる。	★自分の中にある感謝の気持ちを見つめよう。 ①今日は、誰に、どんなことで「ありがとう。」と言ったかを振り返り、出し合う。 ②「『ありがとう』の気持ちを伝える」を読み、「ぼく」は何に対して「ありがとう」の気持ちをもったのかを考え、発表する。 ③誰に、どんな感謝の気持ちを伝えたいか、P197の「例」のようにマップを使って、自分の気持ちを見つめる。 ④感謝の気持ちを見つめてみて、どんなことを感じたかを発表する。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分がさまざまな人に支えられていることを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 感謝の気持ちを伝えたい人に思いを伝えているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 児童作文や友達の考えを基に、自分が感謝すべき対象はたくさんあることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから生きていくうえで、自分を支えてくれている人たちの気持ちにどう応えていきたいかを考えている。	特別活動(学級活動)
	3月 (2)	【よりよく生きるために】 D(22) よりよく生きる喜び 35 一さいから百さいの夢	それぞれの年齢の人が語る「夢」を通して、夢が私たちに与えてくれるものについて考えさせ、よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、夢や希望をもち自分らしく生きようとする心情を育てる。	★夢が私たちにあたえてくれるものは、何だろう。 ①卒業に向けて、「夢」について考えることを確認する。 ②「一さいから百さいの夢」を読み、いちばん心に残ったところを、理由といっしょに発表する。 ③夢をもつことは、人に何を与えてくれるのかを考え、話し合う。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、夢や希望をもち自分らしく生きようすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 夢や希望をもって生活しているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 一人一人が、それぞれ誇りある生き方、夢や希望など喜びのある生き方をしていることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の夢は何か、夢のためにどんなことをしていきたいか、もしくは、たとえ今ははっきりしなくても、どんな夢をもちたいか考えている。	国語科 特別活動(学級活動) キャリア教育
○「学習のまとめ」を振り返った評価(1～3月) ここまでで学んだ、【A(6) 真理の探究】【A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C(17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【C(15) 家族愛、家庭生活の充実】【D(19) 生命の尊さ】【C(14) 勤労、公共の精神】【B(8) 感謝】【D(22) よりよく生きる喜び】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
○「後期」を振り返った評価(10月3週目～3月) ここまでで学んだ、【C(12) 規則の尊重】【B(9) 礼儀】【B(8) 感謝】【B(7) 親切、思いやり】【D(21) 感動、畏敬の念】【D(19) 生命の尊さ】【A(5) 希望と勇気、努力と強い意志】【C(18) 国際理解、国際親善】【C(13) 公正、公平、社会正義】【A(6) 真理の探究】【A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C(17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【C(15) 家族愛、家庭生活の充実】【D(19) 生命の尊さ】【C(14) 勤労、公共の精神】【B(8) 感謝】【D(22) よりよく生きる喜び】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						